

開催日時：平成 19 年 2 月 20 日（火） 17：00～18：45

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 新館 4 階

参加者：中川、桂田、馬場、直江、福本、小林、増田、桧山、古川、事務局長：和田

配布資料：地域情報化委員会の事業計画と進捗

平成 19 年度事業計画(案)

議事

1. 平成 18 年度の取組を再確認

- ・ 配布資料の「地域情報化委員会の事業計画と進捗」に従い 18 年度の事業を見直し以下の議論、及び決定をする。
- ・ 京都 IT コンソーシアム部会の議事録が地域情報化委員には配信されている。委員会の決定どおり京情協の全会員への配信を事務局長に依頼する。
- ・ 小林さんから 3 月に北海道、宮城の情報化団体(社団法人)を訪ねる目的・狙いの話を戴く。長崎での動きを含め地域情報化委員会では京都府への働きかけをする必要があるのではないか？オープンソースや自治体業務に関心が低ければ協調・連携することも少ないが当委員会で調査・研究成果をお伝えする。活動にあたり地域情報化委員会の活動の一環として動ければ助かるとの申し入れに対し、3 月 7 日の事業推進委員会に地域情報化委員会として小林さんの個人会員扱いの検討をお願いすると決定する。
- ・ 京都府電子府庁推進室の室長原田さんから「京都府入札資格申請手続きの一部変更に関する事前のお知らせ情報」を戴いている。会員全てに周知する意義を話し合い事務局長に配信を依頼する。

2. 次年度の地域情報化委員会の活動についての議論

- ・ 地域情報化委員会で話あった内容が平成 19 年度事業計画(案)として文章化されている。地域情報化委員会に関連する部分をのみを意向どおりかを確認する。
- ・ 次年度の目玉の取組は大学との連携(学生に IT 業界に興味を抱いてもらう活動を通じて新卒者採用に結びつける)且つ、この取組は全く新規扱いなので活動イメージに関して議論を交換する。
- ・ 議論としては大学のカリキュラムとして講座を確保・担当するような長期的な視点での活動や合同会社説明会(現状は不人気で学生が集まらない)に工夫を考慮した短期的な活動等が話題となった。
- ・ リクルート活動に関しては関心度合いが高いと判断される。地域情報化委員会の活動は低調気味なので新規参加を考慮する。より具体的な活動内容を 3 月 20 日の委員会では纏めた上で地域情報化委員会参加を呼びかける事にする。

3. 次回の地域情報化委員会は 3 月 20 日(火)

以上